

石川県金沢市

【計画期間 平成29年4月～34年3月】

- ・加賀一向一揆の拠点となった金沢御坊を中心にまちがつくられた。
- ・江戸時代には加賀百万石の城下町として繁栄。戦災や自然災害をうけることなく、金沢城跡を中心に藩政期の都市構造が残る。日本海側の中核都市として発展。
- ・人口465,699人(平成27年国勢調査) 面積468.64Km²

【前計画の概要】

○金沢駅西広場にバスターミナル等を整備し交通結節点の機能を強化するとともに、情報発信拠点や交流促進施設を整備し市民・来街者の利便性の向上を図る。また、住宅支援や住宅供給等の事業により、暮らしやすい中心市街地の形成を進める。(平成24年4月～29年3月)

【中心市街地の変化】

- まちなか定住促進事業による住宅支援や金沢駅武蔵北地区第一種市街地再開発事業第三・四工区による住宅供給により、まちなかへの転入が促進された。
- 北陸新幹線金沢開業後、観光目的の来街者が急増したものの、中心商業地の集客力が回復しておらず、歩行者・自転車通行量の目標値には届いていない。
- 新計画では交流人口の拡大を図りながら、来街者と市民の調和を図ることで更なる活性化を目指す。

【目指す中心市街地像】

**「住む」、「訪れる」、「働く」魅力にあふれ
交流と生活が調和した中心市街地を目指して**

【前計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
誰もが暮らしやすい中心市街地	中心市街地の人口の年間社会動態	+26人/年 (H19-H22平均)	+35人/年 (H24-H28平均)	+149人/年 (H24-H27平均)
にぎわいと交流が生まれる中心市街地	主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量	113,089人 (H23)	115,000人 (H28)	98,151人 (H27)
	中心市街地の観光施設の利用者数	5,869千人 (H22)	6,193千人 (H28)	9,705千人 (H27)
過度に自動車に依存しない中心市街地	公共レンタサイクル「まちのり」の利用回数	—	100千回/年 (H24-H28平均)	131千回/年 (H24-H27)

【新計画目標】

目標	目標指標	現状値	目標値
まちなかの定住者を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	+94人/年 (H24-H27平均)	+156人/年 (H29-H33平均)
	まちなか住宅支援制度の活用による県外からの移住者数	23人/年 (H27)	38人/年 (H29-H33平均)
幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る	商店街店舗の新規出店数	21店舗 (H27)	28店舗 (H29-H33平均)
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	バス乗客者数	80,466人/日 (H27)	82,650人/日 (H33)
歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)の利用者数	338,677人 (H27)	393,000人 (H33)
	外国人入り込み客数	256,000人 (H27)	400,000人 (H33)

まちなかの定住者を増やす

【主要事業】

- ・金沢駅武蔵南地区 第一種市街地再開発事業
- ・金澤町家情報館運営事業
- ・まちなか定住促進事業 など

幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る

【主要事業】

- ・近江町市場複合商業施設整備事業
- ・中心市街地出店促進事業
- ・ファッション・アート交流拠点人材育成事業 など

公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える

【主要事業】

- ・第2次金沢交通戦略推進事業
- ・公共レンタサイクル再構築事業
- ・通勤時、観光期、休日等パーク・アンド・ライド など

歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける

【主要事業】

- ・建築文化拠点施設整備事業
- ・KOGEI かなざわ開催事業
- ・インターナショナルブランドホテル整備事業 など

金沢市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなかの定住者を増やす

①金沢駅武蔵南地区第一種市街地再開発事業

金沢駅から、市の二大商業地である武蔵地区、香林坊・片町地区へと至る都心軸沿いの、老朽ビルや空き家等の更新を図り、商業施設の整備や住宅供給を行う。

②金澤町家情報館運営事業

金澤町家の保全・活用と定住促進を支援するための町家の修繕や売買・賃貸、移住、起業についての総合相談窓口を設置・運営。情報館自体を町家再生のモデルルームとして公開し、移住・起業希望者への情報発信の役割も担う。

③まちなか定住促進事業

戸建て住宅や共同住宅の建設・購入やマンションの内部改修に対して助成する。県外からの移住者に対しては、従来よりも補助金額を加算する。

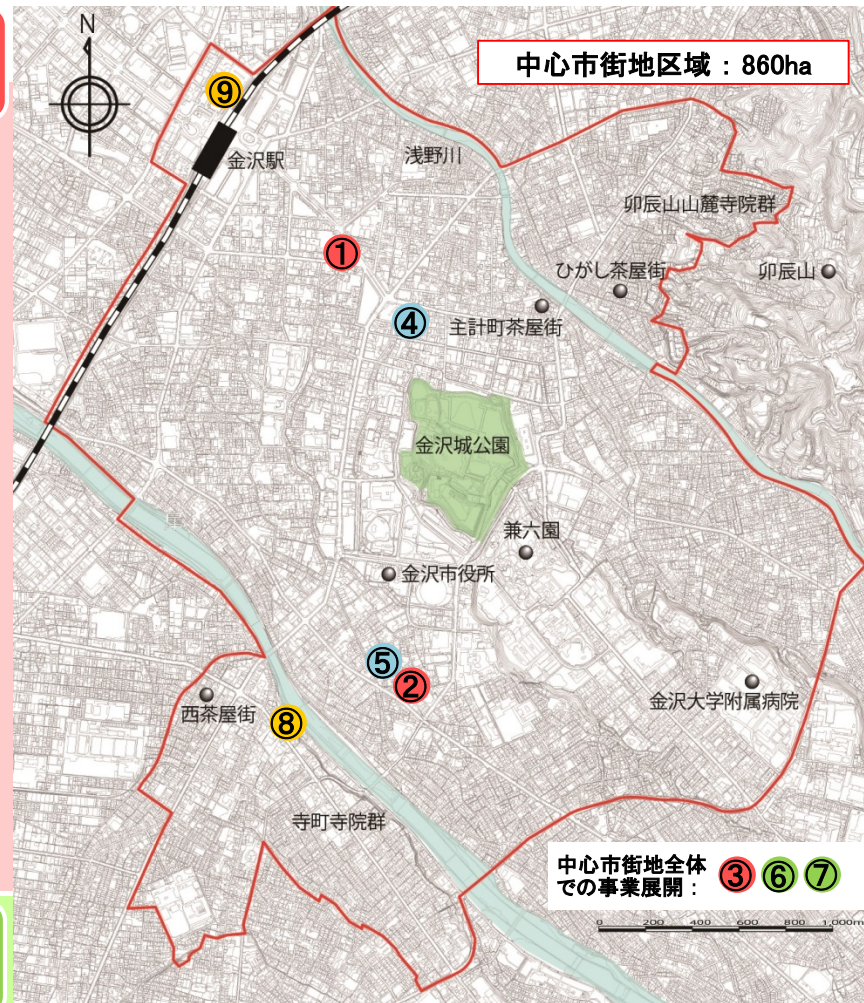
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える

⑥第2次金沢交通戦略推進事業

既存バス路線の再編、基幹路線の増便実験等とともに、パーク・アンド・ライドやレンタサイクルを実施することで、公共交通の利用促進を図る。

⑦通勤時、観光期、休日等パーク・アンド・ライド

郊外の商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施し、交通渋滞の緩和を図る。



中心市街地区域：860ha

中心市街地全体での事業展開：③⑥⑦

幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る

④近江町市場複合商業施設整備事業
「金沢市民の台所」として親しまれる近江町市場で交流機能を有する商業施設を整備し、近隣の商店街と連携し商業環境の魅力を高める。



⑤ファッション・アート交流拠点人材育成事業
服飾関係の買回品の小売業が多い商店街にあるファッション関連の専門学校内に整備した拠点で、起業支援や人材育成を行い、まちなかでの開業を促す。

歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける

⑧建築文化拠点施設整備事業

近世から現代までの建築が重層的に残る金沢の建築文化の魅力を発信する拠点施設を整備する。



⑨インターナショナルブランドホテル整備事業

国際的な知名度を有するホテル、分譲レジデンス、観光情報施設、イベント等を行うオープンスペース等が備わった施設を整備する。